



東海電子株式会社

2026 年 8 月 28 日

東海電子株式会社

労働安全衛生とヘルステックを横断する情報サイト

「労働安全衛生 JOURNAL」を開設

～健康をつくるのは、会社か？ 自分か？ 国か？～

自動点呼システム、運行管理システム、安全運転管理システム、労働安全衛生システムを開発・販売する東海電子株式会社（本社：静岡県富士市、代表取締役：杉本哲也）は、この度、労働安全衛生とヘルステックを横断して考えるオウンドメディア「労働安全衛生 JOURNAL」を開設しました。

本サイトは、働く人の健康を企業だけ、個人だけの責任として捉えるのではなく、法制度、社会保障、健康データ、テクノロジーという複数の視点から問い直し、中小企業の経営者や衛生管理者を中心に、実務と社会の両面から役立つ情報を届けることを目的としています。

1. 開設の背景

企業には、労働安全衛生法に基づき健康診断の実施が義務付けられています。一方で、その結果は総務部門や人事部門に保管されるだけになり、運行管理や安全運転管理など、日々の安全に関わる現場で十分に活用されていないことがあります。個人情報を守ることと、本人の健康と安全のためにデータを生かすこと。この両立は、いま多くの企業が向き合うべき課題です。

また、マイナポータルや PHR（Personal Health Record）の普及により、自分の健康診断結果や医療情報をスマートフォンで確認できる環境が整いつつあります。しかし、数千万人規模で蓄積される健康データを、予防、職域の安全、政策形成へどのように還元するかという議論は、なお途上にあります。

2. 主なコンテンツ

サイト名 労働安全衛生 JOURNAL

<https://journal.occupational-healthcare.com/>

- 一次情報と制度解説 法令、行政資料、統計、国際機関の公開情報を起点に、労働安全衛生と健康政策の現在地を整理します。

- **健康診断・PHR** 健康診断データの意味、保存、本人への還元、企業での活用、PHR 政策の動向を取り上げます。
- **こころ・からだ** ストレスチェック、メンタルヘルス、生活習慣、健康課題が本人・家族・職場へ及ぼす影響を考えます。
- **ヘルステック** 医療機器、治療テクノロジー、未病・予防技術、健康 DX、AI と規制の関係を追います。
- **統計ダッシュボード** 人口、出生・死亡、国民医療費、医療保険、医療施設、医師数などの公的統計を、見て理解できる形で掲載します。



労働安全衛生 JOURNAL は、「健康データは誰のものか？」という問いを出発点に、病気にならないこころとからだをつくるための制度、統計、技術、実践を、独自の視点で読み解きます。

健康は、会社だけがつくるものでも、個人だけが守るものでも、国だけが支えるものでもありません。労働安全衛生 JOURNAL は、その境界にある問いを可視化し、病気にならないこころとからだをつくる社会の選択肢を増やしていきます。

本件に関する問い合わせ先：東海電子株式会社 営業企画部
 東京都立川市曙町 2-34-13 オリニピック第3ビル 203
 E-mail: kikaku@tokai-denshi.co.jp